

2021.11.14 聖書預言アップデート

救いの前に苦難が増す

JD ファラグ牧師

おはようございます。第一礼拝へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝があり、第一礼拝は、毎週「聖書預言・アップデート」第二礼拝は「聖書の学び」です。現在の節ごとの学びは、「ヘブル人への手紙」で主の御心なら、今日は11章を学び終えます。今日の内容は、信仰の弱さや、信仰への迫害が強まっているにもかかわらず、どうやって信仰を持ち続けられるのかを見ていきたいと思います。それをハワイ時間11時15分からライブ配信します。先週は、オンラインの多くの方がお休みだったと思います。ハワイでは夏時間がありませんが、皆さんにはありますからね。というわけで、とにかく皆さんがスケジュール通りに戻って来られているのを願います。また今、ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、jdfarag.org へ直接行かれ、検閲なし、中断なし、完全版の「預言・アップ」を見るのをお勧めします。それでは！始めましょう。今日は、神がご自身の民を救い出そうとされる直前に、ご自身の民の人生に苦難や困難を増やすのを許されるのはいかに、また本当になぜなのか、についてお話したいと思います。聖典のページを通して、神がご自分の民を連れ出そうとされる直前の苦難、困難、試練に関連する共通のテーマが見られます。「出エジプト記」で、神が、エジプトから、エジプトでの奴隷状態からイスラエルの民を連れ出される直前の場合がそうです。神が災いをもたらされる直前、耐えられないほどの苦悩、苦難になりました。そして、それから民を連れ出されたのです。「出エジプト記5章」をご覧ください。この時起こっていた裏話をお話しします。ここで今、神は、民をエジプトから救い出すために、モーセを召されます。これは、モーセが問題を、文字通り自分の手で解決しようとした後です。それ覚えておいてください。まもなく、ここを理解する上で重要になります。それでモーセは、自分の力で神の民を救い出そうとした結果、自分の手で何とかしようと思い、エジプト人を殺してしまいます。そして、神はどうされるのか？神は、基本的にモーセを「砂漠の裏側大学」に送り込まれます。4年ではなく、40年です。大変興味深いのは、モーセがこのような状況の後で、神がご自分の民を救い出されることに気づくのです。しかし神は、神のご方法で、神のタイミングで、神の栄光のために、神の民を解放されます。そしてモーセは、神の命令に従ってファラオのところに行き言います。「私の民を解放してください。」そして、これは衝撃的な出来事で、モーセは気が動転してしまいました。今から見ていきます。

ファラオは、ご存知のように、民を解放しなかっただけではありません。モーセがファラオの前に出るのはこれが初めてです。ファラオは民にさらに辛く当たります。

出エジプト 5

10 **そこで、この民の監督たちとかしらたちは出て行って、民に告げた。「ファラオはこう言われる。『もうおまえたちに藁は与えない。』**

苦勞して作った煉瓦です。「ああ、我々は、あなたがたを甘やかすすぎた。奴隷であるのに文句を言い、去りたいと言う暇があるとは、暇を持って余しているようだ。だからあなたがたにもう藁は与えない。どうだ？自分たちで集めるがよい。」

出エジプト 5

11 **おまえたちはどこへでも行って、見つけられるところから自分で藁を取って来い。労役は少しも減らすことはしない。』**

言い換えれば、今までと同じ量の煉瓦を作れ。

12 そこで民はエジプト全土に散って、藁の代わりに刈り株を集めた。

なんと大変興味深いことに、ここで少し補足させてください。考古学的発掘で、ピトムとラムセスの都市で、イスラエル人が作ったこの煉瓦が発見されました。煉瓦の最初の層には藁が入っています。そして上に上がるにつれ、煉瓦に藁が少なくなっています。藁ではなく、刈り株になっています。そして最後に、藁が全く入っていない煉瓦が発見されました。神がそうなさるのが大好きです。まさに神の御言葉の通りになっていくのです。では 13 節を見ます。

出エジプト 5

13 監督たちは彼らをせき立てた。「藁があったときのように、その日その日の仕事を仕上げよ。」

14 ファラオの監督たちがこの民の上に立てた、イスラエルの子らのかしらたちは、打ちたたかれてこう言われた。「なぜ、おまえたちは決められた量のれんがを、昨日も今日も、今までどおりに仕上げないのか。」

訳すと、「お前たちは逃げられない。ここから抜け出せない。ファラオ様は、我々がお前たちに藁を提供しなくても、同じ数量の煉瓦を作り続けるよう命令しているのに、お前たちはそれをしていない。どうしてやろう？ 殴ってでも殺してでも、働かせてやる。」はい、ご想像の通り、イスラエル人は打ちのめされ、怒りました。この章（15 節）には、イスラエル人の長老や下役たちが、モーセとアロンを無視し、ファラオのところに行き、事態を収拾しようとしたが、無駄に終わった事が書かれています。それで今 彼らはモーセに怒っています。それはまだ始まったばかりです。で、モーセはどうしたかということ？ はい、22 節を見ます。

出エジプト 5

22 それでモーセは主のもとに戻り、そして言った。「主よ、なぜ、あなたはこの民をひどい目にあわせられるのですか。いったい、なぜあなたは私を遣わされたのですか。」

23 私がファラオのところに行って、あなたの御名によって語って以来、彼はこの民を虐げています。それなのに、あなたは、あなたの民を一向に救い出そうとはなさいません。

お～なんということ。モーセよ、ちょっと待って。何ですって？ モーセが何をしているか分かりますね？ お～なんということ。モーセは神を質問攻めにしています。まず第一に、「なぜあなたはあなたの民を、奴隷から解放するために私を召したのですか？」「なぜ私をファラオのところへ送ったのですか？」モーセは、ファラオがもう少し協力的になるだろうと、完全に期待していた様な印象を受けます。悪化するとは全く思っていなかった。負荷が重くなり、苦難が増し、主の民に、燃える炉の温度が上がるとは、思っていないでした。それでモーセは神に問うています。基本的にこう言っているのです。どうでしょうか。「主よ、私はあなたが仰ったことをしたのです。しかし、あなたは私に仰ったことを実行しておられません。どうなっているのですか？」これは非常に緩い翻訳、言い換えですが、ポイントは分かりますよね？「それなのに、あなたは、あなたの民を一向に救い出そうとはなさいません。」ですって？ 頼みますよ、モーセ。神はこの悪にもかかわらず、ご自分の民を救い出そうとしておられますよ。神は、あなたが考えているような方法ではされないだけです。そして、あなたが思う時には、神はなさいません。あなたが考えている方法では神は、なさいません。神にはご計画があります。そして、そう、主が彼らを救い出す前は、もっと悪い状況になるでしょう。なぜなら、これは災いの前であることを理解ください。神はまず、エジプトに 10 の災いをもたらされます。第 10 の災いは長子の死です。これが、私の話の向かう先であり、これを強調する理由です。その痛みと苦しみは、民を救うため、長子の死の災い前に激しくなりまし

た。私たちにも同じことが言えます。神の独り子が私たちを解放する直前、痛みと苦しみが激しくなります。言い換えれば、ここに教訓があります。困難になればなるほど、イエスがこの邪悪で墮落した世/エジプトから、私たちを連れ出しに来てくださる時にどんどん近づくのです。「使徒の働き 14 章」非常に居心地悪い聖句です。読むのは好きではありません。聞くのも教えるのも好きではありません。しかしこれが、神の御言葉です。再度、背景を話します。これは初代教会です。多数の人がイエス・キリストの救いへ辿り着いています。福音が宣べ伝えられ、人々が救われています。しかし、それには何かが付随しているのです。ここ「使徒の働き 14 章 21 節」に、記録されています。

使徒 14

21 二人はこの町で福音を宣べ伝え、多くの人々を弟子としてから、リステラ、イコニオン、アンティオキアへと引き返して、

22 弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧めて、...

わお、ここまでは、とても良いですね。彼らはどのようにして、弟子達を励まし、信仰に忠実であることを力づけたのでしょうか。

...「私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければならない」と語った。

待って。何ですって？ それが私を強くし、励ますことになるのでしょうか？それはストレスです。私の助けにはなりません。あなたは私にこう言いたいのですか？ 神の御国に入るためには、多くの困難を経験せねばならないのを知り、信仰に忠実であり続け、励まされ、強くなりなさいということですか？ そうです。私はこのように考えます。これがクリスチャン信仰の細目です。これが、犠牲を数えるということです。私たちは、自分の信仰を他の人に伝える際、「キリストのもとに来て～、ははは～！」というような絵を描くと大きな過ちを犯すと思います。聞いてください。私はキリストに出会いました。キリストに出会うまで、問題とは何かを知らませんでした。それは私が、世の中の流れに乗っていたからです。あなたがキリストのもとに来ると、世の中の流れに逆らうことになります。世はあなたに敵対します。ヤコブは、このことについて非常に単刀直入に語ります。「あなたは世と本当に仲良しですか？ それなら霊的な姦淫です。

「なぜなら、あなたが世の友であるなら、あなたは神に敵対しているからです。」(ヤコブ 4:4 参照) 世と友にはなれません。キリストのもとに来ると、あなたは今、キリストの敵であるこの世の敵になります。ですから人々がキリストのもとに来て、キリストの福音を伝え、キリストに忠実であり続けるように強め、励ますことに伴うのは、苦勞、苦難、試練、痛み、苦しみ、困難。イエスが私たちを連れ出される直前は、産みの苦しみのように、頻度も強さも増していくといえます。産みの苦しみが近づけば近づくほど増していくように、預言の兆候も近づけば近づくほど頻度が増します。旅をしていると、最終目的地に近づけば近づくほど、標識の数が増えていくのが分かりますね。これは、今の時の兆候についても同様です。

では、質問です。これに取り組みたいので、主に助けをお願いしています。私たちはどうすべきなのか？

質問: このことを踏まえて、これにもかかわらず私たちは何ができるのか。

では、皆さんがこの答えを気に入るかどうかは分かりませんが、新着情報です。しかし私たちには、できないことのほうが多いのです。つまり、モーセが試みたように立ち上がるということが。どうかお付き合いください。最後まで聞いてください。

こんにちのクリスチャン教会には、「立ち上がって戦おう！」という動きがあるようです。そう、それが

どうだったか、モーセに聞いてみると良いかもしれません。私たちが何もしない、というわけではない事
はご理解ください。むしろ、私が言いたいのは、立ち上がってこれと戦う必要はないということです。
なぜなら、イエスが私たちをここから連れ出すため来られるからです。私たちが本当にしなければなら
ないことは、イエスを人々に、人々をイエスに早急に導くことです。タイタニック号を、何度も例に挙げ
るをお許してください。しかし、このような慣用句があります。”タイタニック号の甲板の家具を並べ替
える”それには真価があると思います。無駄にする時間は残っていないのだから、自分の僅かな貴重な時
間を無駄にしたくない。この船は沈んでいくのですから。手遅れになる前に、人々を救いの救命ボートに
乗せたいのです。イエスはその救いです。そうそう、先週も話したでしょう？この世は死んでいっていま
す。この世は過ぎ去っていつているのです。もう放っておいてください。手放す。なぜ私たちは、この滅
びゆく世と、この世の物にしがみつこうとするのですか？手放すのは早いほうがいいですね。では皆さ
んを、「ヨハネの福音書 18 章」へ招待させていただきます。悪化しますよ。まだ知らないのであれば、お伝え
しておきます。これはイエスが今、ピラトの前で裁判を受け、十字架にかけられようとしているヨハネの
福音書の箇所です。

ヨハネ 18

33 そこで、ピラトは再び総督官邸に入り、イエスを呼んで言った。「あなたはユダヤ人の王なのか。」

34 イエスは答えられた。...

イエスはその質問には、少なくとも今は答えるつもりはありません。しかしこれが彼の答えです。

...あなたは、そのことを自分で言っているのですか。それともわたしのことを、ほかの人々があなたに話
したのですか。

35 ピラトは答えた。「私はユダヤ人なのか。あなたの同胞と祭司長たちが、あなたを私に引き渡したのだ。
あなたは何をしたのか。」

36 イエスは答えられた。...

特に注目していただきたいのは、「王国（わたしの国）」という言葉が3回も使われていることです。

...「わたしの国はこの世のものではありません。もし（わたしの国が）この世のものであったら、わたし
のしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように戦ったでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの
世のものではありません。」

37 そこで、ピラトはイエスに言った。...

それは、私があなたに尋ねたことではない。あなたは王なのかと聞いたのだ。

...「それでは、あなたは王なのか。」イエスは答えられた。「わたしが王であることは、あなたの言うとお
りです。わたしは、真理について証しするために生まれ、そのために世に来ました。

それからイエスはこう仰るのです。

...真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」

言い換えれば、「ピラトよ、わたしは王である。しかし、わたしの王国は、王国を持たずして、いかに王
になるのか？ピラトが王として求めていたのはそういうことだったのではないのでしょうか。イエスが言
われた返答は、こんにちの教会へ、御霊が仰っておられる事なのだと思います。

「わたしの王国は、ここではありません。私たちが戦う王国は、天の御国です。」それが良い戦いであり、
これが私が指摘する理由です。私たちは皆、その傾向があります。こうなると私も他の人と同じですね。
告白しなければなりません。でないとも最高でも不誠実、最低でも不正直になりますから。つまり、たまに

は良い戦いをしたいものです。やりましょうよ。戦え、戦え、戦え！問題は、それが正しい戦いでなければならぬということです。意味合いとして、間違っただけの戦いがあるということです。間違っただけの戦いとは何か？間違っただけの王国のために戦っているなら、それは間違っただけの戦いです。正しい戦いをしていれば、それは正しい王国、神の御国のためです。間違っただけの王国のために、間違っただけの戦いに身を投じるとき、私たちは大きな過ちを犯すと思います。その際、私は何に例えればいいのか？この比較をお許しください。それは、この死にかけている世界を、生命維持装置で維持しようとするようなものです。なぜ私はこれを生かそうと戦っているのか？死んでいっているのに。この世は過ぎ去っていっているのです。前述の困難や苦悩は、私たちを磨き、清め、準備させるという必要な効果があります。木曜日の夜の礼拝で、素晴らしい「イザヤ書」を節ごとに学んでいます。先日は、48章を学んだのです。この章で興味深いのは、神がバビロン捕囚からご自分の民を救い出される預言です。しかしここがポイントです。神は、預言者イザヤを通してこの預言の中で、苦しみの炉の中で民を精錬されることを告げておられます。何ですって？そうです。聞いてください。「わたしは、あなたがたをバビロン捕囚から救い出すつもりだが、その前にあなたがたは苦しみの炉を通らなければならない。そして、わたしはその炉の熱温度を上げていく。大変熱くなります。」神様、なぜですか？「なぜなら、あなたがたを解放しようとしているからだ。それが理由です。」「あの～、ちょっと待ってください。あなたは、私たちを救い出す前に、苦しみの炉の温度を上げるのですか？」そうです。これが「詩篇 34 篇 19 節」です。

詩篇 34

19 正しい人には苦しみが多し。しかし 主はそのすべてから救い出してくださる。

良くなります。イスラエルの甘美な詩人、ダビデ。その貴重な、かけがえのない、時代を超越した詩篇 119 篇。彼は2度言います。最初は 67 節です。これお聞きください。

詩篇 119

67 苦しみにあう前には 私は迷い出ていました。...

ほ～誰かがそこで私のメールを読んでいますね。

...しかし今はあなたのみことばを守ります。

それからダビデは 71 節でこう言います。

詩篇 119

71 苦しみにあったことは私にとって幸せでした。それにより私はあなたのおきてを学びました。

良い事なのです。いいえ、あなたは苦しみの炉を望んでいるのです。苦難が来るということは、自分の救いがやって来るといふことなので、苦難が来ると望んでいるのですよ。「神は苦しむ者を慰められる」という言葉を聞いたことがあると思います。それを聞くのは大好きです。特に、私が慰めを必要としているとき、悩んでいるときに。神は苦しむ者を慰めて下さる。お～しかしこれは聞かれたことがありますか？神は、快適な者を苦しめられる。しばらくお時間差し上げます。どういう意味でしょうか？そう、時に私たちは、自分の家ではないこの世界で少し快適になりすぎてしまいます。神は、私たちの家ではないこの世界から、私たちを救い出したいと思っておられます。しかし、私たちはあまりにも落ち着いていて、快適すぎます。そこで神は仰います。「ああ、私はこれから、、、」よろしければ、私自身に話します。なぜなら皆さんは、私よりも霊的に優れているので、このようなことは起こりませんが、神は、JD の人生にある苦しみの炉の温度を、上げなければなりません。だからダビデのように、私も苦しんで良かったと言えるのです。なぜなら、私が苦しまなかったなら、私があの苦しみの炉に投げ込まれていなかった

たら、解放されたいとも思わなかったでしょう。本当にそれがポイントだと思います。私にとって、木曜日の夜に話しましたが、私が心から信じるのは、こんにち神が、世界で行っておられるのは、ご自分の民を解放する前に、民が出たいと思うように、苦難をお許しになっている事です。興味深いのは、神がバビロン捕囚から民を解放される時、行かなかった人がいたことです。彼らは留まりました。彼らは行きたくなかったのです。なぜ行きたくなかったのか？ 落ち着き過ぎていたからだと思います。ええ、でも彼らは奴隷でした。では、エジプトでのイスラエルの民に聞いてみてください。エジプトから脱出した後も、彼らって、戻りたかったんですよ！！ それも、私のメールが読まれているのです。エジプトは、この世の型です。事実、記述には、民がぶつぶつ、文句を言ったりしている時、驚愕して、息を呑みます。因みにこれはいつものことでした。彼らは、古き良き時代を懐かしんでいます。もちろん、大勢と一緒に。

「ああ、エジプトに戻りたい。ピュツフェ、タマネギ、ネギ、ああ...」そのための言葉が選択的記憶と呼ばれるものです。奴隷だったのに！！ 神はあなたを捕らえ、あなたを養い、救い、毎日欠かさずマナを提供くださっているのに、あなたがたは、飽きてきて、エジプトに帰りたくなくなっている。これは、神の御言葉の中のその一つ、皆さんが私同様なら、そうだと思いますが、あなたは、つまりイスラエルの民を厳しく非難しているんです。なぜそんなことができるのか？ (JD 牧師挙手中) 頼みますよ。私たちは同じことをするはずですよ。ここに真理があります。私たちは、この世で非常に困難や苦勞をすることになると警告され、約束さえされています。「ヨハネの福音書 16 章 33 節」は、きっと多くの人が知っている節だと思います。イエスが話しておられます。

ヨハネ 16

33 これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を得るためです。世にあっては苦難があります。...

私はイエスが、"will/あります"とは仰っていなかったら良いのにと思います。イエスがこういう趣旨のことを仰ってほしかったですね。「この世では、たぶん困難に出くわすこともある。」いいえ違います。"will/あります"です。私は原文を見て、"あります"よりも柔らかい言葉を探しました。でもさらに悪かったです。「保証する」「お金が戻る」というものでした。(笑)"困難が will/あります。"

...しかし、勇気を出しなさい。

(理由は?) わたしはすでに世に勝ちました。」私たちはそれを記憶し、読み、引用し、大好きですよ。でも、ここで提案してもいいですか？ イエスが、「わたしはすでに世に勝ちました。」と仰る時、こういう推論があると思いませんか？ もしかしたら、救世主から「あなたがたも世に勝ちたいですか」という趣旨の質問では？「わたしはあなたがたをこの世から連れ出します。」「実は、あなたがこの世で抱えている問題と、わたしがあなたをこの世から連れ出すために来臨することは、繋がっているのです。」困難であればあるほど、イエスに来てほしいと思うからです。真実ではないですか？ 正直になりましょう。私たちは教会にいるのですから、そうでなければなりませんね。物事が順調な時は、こんな風です。「主よ、来てください～早めに。」逆境が襲い、物事が困難になると、「主よ、来てください～早めに。」ではなくなります。こうなります。「主よ。今すぐ来てください！！昨日来てください。今日来てください。今日じゃないなら、明日。明日でないなら、私は乗り越えられるかどうかもう分かりません。」それがポイントです。「わたしはすでに世に勝ちました。」わたしはこれらの事をあなたがたに話しました。あなたがたが苦しみの中にも平安を得られるように。困難の中でも平安を得られるように。あなたの人生の状況に左右されない平安。世界で起きていることに左右されない平安。わたしが与える平安は、人が与えるも

のではありません。」(ヨハネ 14:27 参照)

それは、パウロが言う「人知を超えた平安」です。(ピリピ 4:7 参照) そう、文字通りさらに悪くなります。この苦難、苦悩はもっと酷くなる可能性があります。それで十分でないなら、思わぬ形でやってくる可能性があります。その意味を説明します。私が話すのは、「分裂」のことです。特に、家族や教会家族といった神の民の間での分裂です。私がこのように言うと、皆さん同意されると思いますが、こんにちの世界はかつてないほど分裂しており、さらに悪化しています。しかも世界規模です。「ルカの福音書 12 章」を一緒に見ませんか？ 再度、大変心地良くありません。51 節から読みます。イエスが語っておられることを聞いてください。あえて言えば、これはおそらくどなたも、壁や額や壁紙や冷蔵庫には飾っておられないでしょう。

ルカ 12

51 あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらしのために来たと思っていますか。そうではありません。あなたがたに言いますが、むしろ分裂です。

何ですって？

52 今から後、一つの家の中で五人が二つに分かれ、三人が二人に、二人が三人に対立するようになります。

53 父は息子に、息子は父に対立し、母は娘に、娘は母に対立し、(義理の母/そこには全てが詰まっています。) —(笑)— 失礼しました。あとで悔い改めます。

...姑は嫁に、嫁は姑に対立して分かれるようになります。

54 イエスは群衆にもこう言われた。「あなたがたは、西に雲が出るのを見るとすぐに、『にわか雨になる』と言います。そしてそのとおりになります。

55 また南風が吹くと、『暑くなるぞ』と言います。そしてそのとおりになります。

56 偽善者たちよ。あなたがたは地と空の様子を見分けることを知っていながら、どうして今の時代を見分けようとししないのですか。

皆さん分かりましたか？ つまり、ほ〜〜〜です。自分がこれを理解しているかどうかを確認します。イエスがここで仰っているのは、時代の兆候を見極める必要があるということです。時代の兆候の一つというのは、イエスが仰った通りになります。5 人家族ですか？ 私は 5 人家族です。因みにこれご存知ですか？ 5 人家族は 25 人の人間関係がある。不思議ではありません。それも納得ですよ。5 人家族は 25 人の人間関係があります。5 人家族なら、3 人が 2 人に対立します。家族がお互いに分裂します。父は息子に、息子は父に対立します。イエスは問うておられます。「あなたがたは地平線の向こうを見て、天気を見分けることができるのに、どうしてこれが見えないのか？」これが起こる事の兆候です。というよりも、誰が来られるのか？ ”イエスが来られます”よろしければ、このことについて特に、この預言的な兆候を、残りの時間で、説明したいと思います。そのために、フェイスブックとユーチューブのライブ配信を終了します。JDFarag.org サイトへ直接どうぞ。

—本編—

今、世界で起きていることは、神の預言時計の時刻が、どれほど終わりに近いのを示しているのかという話から始めたいと思います。こんにち私たちが目の当たりにしているのは、接種するか接種しないかに関連する「分断と征服」の教科書通りです。ご興味のある方は、これに対して、今年 2 月 14 日のアップ

デートを参照ください。リンク貼っておきますウェブサイトにも掲載します。その中で、ルカの福音書に書かれている通り、預言的に、分裂と混乱が、なぜか、またいかに終末の預言的な兆候の一つであるかを詳しく説明しました。また実に、その1週間前の2月7日、「大虐殺10段階」と呼ぶものを見ました。さて、なぜ私はこのことに触れ、これらを参照するのか？ なぜならこれが、まさにこんにち起こっていることだからです。なぜこれが重要なのか？ 聖書預言で語られていることと一致するからです。時間の都合上、詳細は省きますが、以下は10段階と言われているので、それに沿って進めていきたいと思えます。しかし、ここで注目していただきたいのは2番と8番です。理由はすぐに分かります。

第一段階：分類

第二段階：象徴化

第三段階：差別

第四段階：非人間化

第五段階：組織化

第六段階：分裂（対立）

第七段階：準備

第八段階：迫害

第九段階：駆除

第十段階：否認

第二段階：象徴化と、第八段階：迫害に焦点を当てようと思った理由は、ユダヤ人のホロコーストにおけるイエロースター/黄色い星のように、この世界的な大虐殺とホロコーストの中で、ワクチン未接種たちの隔離を象徴するものがあるからです。これは、ユダヤ人のホロコーストだけでなく、世界的ホロコーストであり、大虐殺です。私たちが目の前で目撃しているのは、悪、全き悪です。これが核心です。今、世界は2つの陣営に分かれています。その単語を使うのをお許しください。他により良い言い方がありませんが、ワクチン接種者かワクチン未接種者か、です。ワクチン未接種なら、分類、象徴化、差別、非人間化、迫害され、そして最終的には駆除されるのです。ホロコーストのように、恥をかかされ、見捨てられ、報告され、裏切られ、最終的には強制収容所ではなく、隔離収容所に入れられてしまう。もう既に始まっていると言えどどうでしょうか。ライブ配信前に言ったように、木曜日のことを考えていました。木曜日に、妻と私の33回目の結婚記念日を迎えます。私たちは、この日を一緒に過ごすことをとても楽しみにしています。しかし、今年はレストランの予約が全然取れませんでした。ワクチン未接種だからです。私はこのことについて、落ち込んだ気持ちをまだ抑えようとしています。しかし私は、家内をディナーへ連れて行けません。結婚33周年記念だというのに。かつてのようにレストランで一緒に食事をしたり出来ないのです。私たちは分類され、象徴化されているからです。黄色い腕章を身につけているかのようです。強張って笑いながら言いますが、そうなのです。なので、全ボディに凹みがある2008年式ホンダ・オデッセイ・バンに乗って、ノースショアでもドライブしてバンの中で記念日のディナーをする予定です。ええ、私の魂の伴侶、人生の愛と一緒に。だから気にしません。33周年記念です。素晴らしい。ぴったりくっついていきますからね。一拍手喝采ー 私が、ちょっとお付き合いください。私が今日ここで言っていることは、皆さんにとって理に叶ってますでしょうか？ つまり、私はここで真実を語っているのでしょうか？ これが起きている事ではないですか？ まさかこんなことになるとは、誰が想像したのでしょうか。ここまで苦しみの熱が上がるとは誰が考えたのでしょうか。あの苦しみの焔が。以前にも言ったこ

とがありますが、もう一度言います。メモにはありませんが、私の心にあります。この世には、ここにいたいと思うものは何もありません。つまり、世は急速に、私がもういたくはない場所になりつつあるのです。恐らくそれがポイントです。神がこう仰っているかのようです。「あなたはもう行きたいですか？」はい！ からかっているのですか？「天のレストランで食事できますよ。もうここにはいられないでしょ。」はい、さあ行きましょう！ ー(笑)ー バカな話を許してください。ユーモアを入れないと、泣いてしまいそうなのです。とにかく泣いてしまうかもしれません。私たちは、この世でとっくに長居をしています。つまり、このまま居続けたくありません。仕事に取り掛かりましょうよ。仕事に取り掛かりましょう。家に帰りたいです。熱が上がる。構いません。事実、知ってますか？ 木曜日に、ぴったり寄り添わせないください。テイクアウトもさせないでください。構いません。どうぞどうぞ。その意味が分かりますか？ イエスが来られるのがさらに近いという事です。神が民を解放し、民を連れ出す直前だから、熱を上げておられるのです。熱を上げる！ 屋根の修理と一緒にですが、エアコンなしを考えていたのはそのためなんですよね。ー(笑)ー 完全に影響します。私たちは、この聖域を苦しみの炉としたかったのです。なぜなら、あまりにも快適だったら、帰りたくなるからです。しかし、神は。それを結びつけれるかどうか見て、締めくくります。これを一緒に考えてくださいね。死の 10 の災いの代わりに、大虐殺 10 段階です。しかし、神は、この世から民を連れ出そうとしておられます。

「私は家に帰りたいたい。家に帰りたいたいです、イエス様。それが苦難が増す、困難が増すということなら、それがそういう意味なら、あなたが私を乗り越えさせてくださるのを分かっています。あなたは私を失望させることはあられません。神は決してご自分の民を見捨てられません。」

よく聞かれる質問ですが、「携挙の前に、私が携挙前の迫害と呼ぶ、本当に悪い状況になったらどうなるのでしょうか？」神が乗り越えさせてくださると思いませんか？ このことについては、「ヘブル書」の学びで、もっと詳しく説明する予定で、どうやって信仰の弱さや、信仰のために拷問されたり、迫害されたりする中で、信仰を持ち続けられるのかを話します。そのような状況の中で、どのようにして信仰を持ち続けることができるのかを話します。では、私たちは常に「聖書預言・アップデート」をイエスの福音と、イエスにおける救いの良い知らせで締めくくります。また救いの簡単な説明「救いの ABC」で締めくくります。私は ABC で少し変わったことをしたいのです。そこに福音を織り込んで、ABC を使って、福音というキャンバスに絵を描くようにしたいと思っています。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。自分が罪びとだと認めない限り、本当の意味で救い主を求めているのです。なぜなら、必要ないからです。しかし自分が罪びとだと認め、認識すれば、救い主が必要だと認めます。私たちは皆、罪びとなのです。

ローマ人への手紙 3 章 10 節に書かれています。

「義人 (正しい者) はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節がその理由です。

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たちは誰しも、生まれながらにして罪びと (的外れ) です。ですから、神の御国に入るためには、新生しなければならないのです。私たちは良い人間かもしれませんが、(神の基準には) 十分ではありません。私たちは的を外しているからなのです。これが福音という事で、福音とは良い知らせと言う意味です。さて、良い知らせであるためには、まず悪い知らせがなければなりません。誰かがあなたのところへ来て、こう言われるのはどうですか？「良い知らせと悪い知らせがあるんだけど、どっちを先に聞きたい？」

それ大嫌いです。下がれサタン。悪い知らせは聞きたくない。いいえ、悪い知らせを先に聞かねばなりません。これが正しい英語でないのは分かっていますからどうぞメールしないでください。悪い知らせが悪ければ悪いほど、良い知らせはさらに良くなるのです。そしてこれってかなり悪い知らせです。罪には罰則があるからなのです。その悪い知らせとは、罰則が死刑宣告だという事です。ローマ人への手紙 6 章 23 節が語ります。

「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)

悪い知らせですね。良い知らせを聞く準備はいいですか？ーはい！（JD 牧師挙手中）良い知らせは、

「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23b)

わお～それが良い知らせなのです。贈り物なのです。私が支払ってはいません。自分で支払うなら、購入した物であり贈り物ではありません。そうではなく、イエスが購入された贈り物なのです。私たちは代価を払って購入されたのです。私たちは自分たちのものではありません。イエスは私たちを購入下さり、全てを懸けて、十字架上で全額支払ってくださったのです。それが良い知らせです。それが A です。そして A が、中心の B：あなたの心で、Believe/信じる。へ繋がります。キリストのもとに来るために必要なことは何もありません。ただ信じる事です。このように説明されているのを聞いたことがあります。

「それは、お風呂に入る前にシャワーを浴びるような愚かさだ。」それを聞いたことがあるでしょう。

「ではキリストのもとに来る前に、自分の行為を綺麗にしたほうがいいね。」いいえ必要ありません。

まず自分では綺麗にできませんから。あなたがキリストのもとへ来ると、キリストが、聖霊が宿ることで、完全にあなたを清めて下さいます。

「たとえ、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。」(イザヤ 1:18)

「神はあなたを赦して下さいます。」第一ヨハネ 1 章 9 節ですね。クリスチャンの石鹸とも言われています。私はその 1 つを使用しました。皆さんもでしょう？なので私を霊的な目で見ないでください。

もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめて下さいます。(I ヨハネ 1:9)

それって良いことです。それが 1 粒で 2 度おいしいと呼ぶものです。私たちがするのは告白することだけ。神が 2 つをして下さる。赦して、そして、追加料金なしですべての不義から清めて下さいます。私がイエスを信じるなら。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

ABC のシンプルさよりも、本当はもっとシンプルなのです。実は「B/Believe=信じる」だけというシンプルさです。一旦あなたが心で、イエス・キリストを主と信じれば、その表現が「C」になります。

C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、**ローマ人への手紙 10 章 9-10 節**

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

その理由は、

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」(ローマ 10:10)

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節です。今度の 1 月、2022 年の 1 月、信じられますか？ 40 年ですよ。40 歳のお祝いをする。私って 40 歳にしては、なかなか良いですよ？ 私の霊的誕生日、主の御名を呼び求め、救われたのが 40 年前です。

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』（ローマ 10：13）

will/救われる、です。それが、“will～する”という言葉が私が見たい箇所です。救われる。私には、40年前でした。私はただ、心の中で信じて主の名前を呼んだだけで、救われました。そして決して振り返りませんでした。私は切に願います。今日ここにおられるか、オンラインでご覧の人で、キリストを信頼したことがなく、主を信じたことがなく、主の御名を呼び求めたことがなく、主の御前で自分の罪を認めたことがないなら、他にどう言えば良いのか分かりませんが、永遠のいのちという人生で最も大事な決断を先延ばしにされないのを心から願います。嘆願します。イエスが来られるからです。

キリストにある死者が先に甦り、空中で主に会う時、(I テサ 4：16-17) あなたにも会いたいのです。ほ～切に願います。どうか今日があなたの救いの日でありますように。よろしければ、さっと証をご紹介します締めくくります。これはちょっと強烈ですが、これらの証に祈り、主が私にどれを共有させたいと思われているのか主を求めているのを知っていただきたいと思います。この証を共有するのを避けようとしたのですが、主はそうさせて下さいませんでした。皆さんその理由が分かると思います。匿名希望の方からです。

「娘を亡くしたばかりの私のとても大切な友人のことを書きます。娘さんは、28歳でした。生まれつき脳に障害がありました。そして医療過失です。娘さんは、ニューヨークの病院に入院しました。コロナと診断されました。しかしながら、レムデシビル、デキサメサゾン、バンコマイシンという致命的なカクテルを投与されたのです。扇動される慣習であり、当然ながら医師は投与することでボーナスを得ます。両親は裁判所の命令を得て、医師と看護師にイベルメクチンを投与してもらいました。投与するのに4日もかかったのです。しかも、2回しか投与しないのです。私はこの悪が信じられません！ 彼らは、彼女に気管挿管し、(この処置：医師への追加ボーナスです。)腎臓の機能が低下し、臓器不全に陥ってしまいました。彼女は10月6日に亡くなりました。私はイギリスにいますので、遠くからその友人を支えています。彼らはクリスチャンです。私もそうで、医療従事者です。葬儀は、2週間前に行われました。(ここから「しかし、神はストーリー」の驚くべき証です。)その葬儀で、11人が救われました。一拍手喝采一人々が「どうすれば救われるのか？」と尋ねたのです。両親はもちろん、打ちのめされていました。これは、医療専門家による殺人です。軽い気持ちで言ったわけではありません。これを共有される場合は、私の名前は匿名にさせていただきたいと思っています。その友人が、喜んでこの話を立証してくれるでしょう。彼らのためにお祈りください。レベッカとステイブです。あなたがされている事すべてに感謝します。これからも真実を語り続けてください。ありがとう。」

皆さん、神だけが御出来になられます。人は悪を計画します。しかし、神は。この悪を用いられ、これが故に、11人を救いへ導かれました。主を褒めたたえます。一拍手喝采

ご起立ください。賛美チームが上がってきます。締めくくりましょう。皆さんのご忍耐と、今日お付き合いくださって感謝します。

天のお父様。私がこれを言い、これを祈るとき、私はここにいる人、見ている人を代表していると思います。私たちは、あなたが来られる準備ができています。主よ、熱を上げてくださってありがとうございます。あなたが仰った通り、あなたがうごめく悪を用いられ、こんにち多くの人々の救いのために、それを良い方向に向けてくださることを感謝します。主よ、このおかげでどれだけの人があなたのもとに来たか、栄光のこちら側では知る由もありません。だから、主よ、私たちが苦しむことは良いことです。それが人々をあなたのもとに連れて行き、またあなたのもとに連れ戻すからです。主よ、私たちはそのことで

あなたを賛美しあなたに感謝します。それが困難であると同時に難しいことですがそれでいいのです。主よ、それで。もし、あなたがまもなく来られるなら、これが終わり方であり、これこそが全ての意味であるならば、マラナタ。主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7